	上上耒向 ₹	\$専門学校	交	開講年度	令和05年度(2	2023年度)	│ 授業科目	∃ 基礎プログラミ	ミンク 3		
科目基					1						
科目番号 0015						科目区分	専門 /	専門 / 必履修			
授業形態		授業				単位の種別と単位		履修単位: 1			
開設学科			報工学科	<u> </u>		対象学年	3				
開設期	1	後期	+1X1-1-	1		週時間数	2				
教科書/	±/ı±+	15-07-7-5	1 1.00 (第5版)」高 ^は	 撟 麻奈 著,SoftBa	1					
担当教員		林田与			同M示 有, SUILDO	ilik Creative					
			ЛД								
到達目			.0								
		まの基礎(7 売み, その動 ブラムを作品	ポインタ 動作を説 成できる	, 関数, クラ 明できる.	ス) を理解する.						
ルーブ	`リック		-								
			理	想的な到達レ	ベルの目安(優)	標準的な到達レベ	いの目安(良)	未到達レベルの!	未到達レベルの目安(不可)		
評価項目1			,	ログラム文法 関数, クラス いる.	の基礎(ポインタ)を的確に理解し	プログラム文法の基礎(ポインタ , 関数, クラス)を理解している			プログラム文法の基礎(ポインタ , 関数, クラス) を理解していな い.		
評価項目2			プI 確	プログラムを読み, その動作を的 確に説明できる.		プログラムを読み, その動作を説 明できる.		明できない.	10 0 0 0 0		
評価項目3				できる			グラムを作成できる 基本的なプログラムを作成できない.				
学科の	到達目標	項目との	関係								
電気情報	放育到達度目 公工学科教育	標 E2 目標 E2									
教育方	法等										
概要		とって ウェア エア開	情報処理 がどのよ 発ができ	目システムは缶	#くてはからかいち	のとかっていろ オ	マ授業の大きた	目み込まれており,現代 3目標はそのような機器 自身で設定した仕様に基 ブ言語の基本概念である	呉のかかでソフト		
授業の進	₤め方・方法	・50g 出され	点以上(ている者	100点満点) そに限り再評値	について定期試験お を合格とする、不合 晒試験を受験できる	8格となった場合	それぞれの定	期試験を30点以上得点	えし, 課題が全て提		
		・定期	型	(30%) : レ70%) : 中間	ポートまたは小デン 試験(35%),期	るのとする. スト, プログラムの 末試験(35%)	提出				
		演習を	数多くこ	こなすことに。	ポートまたは小テス 試験(35%), 期! よってプログラムの	スト, プログラムの 未試験 (35%) 動作を理解し慣れて	いくため, 自	自分自身で考えながらこ	プログラムを記述		
		演習を してい	数多くこ くこと.	こなすことに。	ポートまたは小テス 試験(35%), 期:	スト, プログラムの 未試験 (35%) 動作を理解し慣れて	いくため, 自	自分自身で考えながらご こと.	プログラムを記述		
授業の	属性・履行	演習を してい 修上の区	数多くご くこと. 分	こなすことに。 他の人と話し	ポートまたは小テス 試験(35%), 期! よってプログラムの	スト, プログラムの 末試験 (35%) 動作を理解し慣れて 最後は自分で判断し	いくため, 自 , て記述するこ	<u> こと.</u>			
授業の	属性・履f ティブラー:	演習を してい 修上の区	数多くご くこと. 分	こなすことに。	ポートまたは小テス 試験(35%), 期! よってプログラムの	スト, プログラムの 未試験 (35%) 動作を理解し慣れて	いくため, 自 , て記述するこ	<u> こと.</u>	プログラムを記述 5る教員による授業		
授業の 図 アク:	ティブラーニ	演習を してい 修上の区	数多くご くこと. 分	こなすことに。 他の人と話し	ポートまたは小テス 試験(35%), 期! よってプログラムの	スト, プログラムの 末試験 (35%) 動作を理解し慣れて 最後は自分で判断し	いくため, 自 , て記述するこ	<u> こと.</u>			
授業の 図 アク:	ティブラーニ	演習を してい 修上の区 ニング	数多くご くこと. 分	こなすことに。 他の人と話し	ポートまたは小テス 試験(35%), 期! よってプログラムの	スト, プログラムの 末試験 (35%) 動作を理解し慣れて 最後は自分で判断し	いくため, 自 , て記述するこ	<u> こと.</u>			
授業の 図 アク:	ティブラーニ	演習を してい 修上の区	数多くご くこと. 分	だなすことに。 他の人と話し ICT 利用	ポートまたは小テス 試験(35%), 期! よってプログラムの	スト, プログラムの 末試験 (35%) 動作を理解し慣れて 最後は自分で判断し	いくため, 自 , て記述するこ	□ 実務経験のあ			
授業の 図 アク:	ティブラーニ	演習を してい 修上の区 ニング	数多くご くこと. 分 ☑ 授業P	だなすことに。 他の人と話し ICT 利用	ボートまたは小デン 試験(35%),期 たってプログラムの い合ってもよいが,	スト, プログラムの 末試験 (35%) 動作を理解し慣れて 最後は自分で判断し □ 遠隔授業対応	いくため, 覧いて記述する。	□ 実務経験のあ	5る教員による授業		
授業の 図 アク:	ティブラーニ	演習を してい 修上の区 ニング 週	数多くご くこと. 分 図 授業P 基礎:	だなすことに。 他の人と話し ICT 利用	ボートまたは小デン 試験(35%),期 たってプログラムの い合ってもよいが,	スト, プログラムの 末試験 (35%) 動作を理解し慣れて 最後は自分で判断し □ 遠隔授業対応	いくため, E して記述するこ 見ごとの到達 基礎プログラ	こと. □ 実務経験のも 目標	5る教員による授業 客の確認を行う.		
授業の 図 アク:	ティブラー:	演習を してい 修上の区 ニング 週 1週 2週 3週	数多くごく 分 授業P 基礎ご ポイン	ICT 利用 内容 プログラミング ンタ(1)	ボートまたは小デン 試験(35%),期 たってプログラムの い合ってもよいが,	スト、プログラムの 未試験 (35%) 動作を理解し慣れて 最後は自分で判断し □ 遠隔授業対応	して記述する。 過ごとの到達 基礎プログラ メモリとアド を理解する。 ポインタの加 別を理解する。	こと. □ 実務経験のあ 目標 ミング2で学習した内容 レス,アドレス演算子 ば算と配列,ポインタ	5る教員による授業 客の確認を行う. , 間接参照演算子 型を要素とする配		
授業の ☑ アク:	ティブラーニ	演習を してい 修上の区 こング	数多くこ 分 授業 P ポイン 関数(ICT 利用 N容 プログラミング ンタ(1) ンタ(2) 1)	ボートまたは小デン 試験(35%),期 たってプログラムの い合ってもよいが,	スト、プログラムの 末試験 (35%) 動作を理解し慣れて 最後は自分で判断し □ 遠隔授業対応	して記述する。 過ごとの到達 基礎プログラー メモリとアド を理解する。 ポインタの加 別を理解する。 関数の定義と	こと. □ 実務経験のを 目標 ミング2で学習した内容 レス,アドレス演算子 減算と配列,ポインタ。 ・ 呼び出し,引数,戻り	5る教員による授業 学の確認を行う. , 間接参照演算子 型を要素とする配 値を理解する.		
授業の ☑ アク:	ティブラー:	演習を してい 修上の区 ニング 週 1週 2週 3週	数多くこ 分 授業 ポイン 関数(関数(ICT 利用 内容 プログラミング ンタ(1) ンタ(2) 1) 2)	ボートまたは小デン 試験(35%),期 たってプログラムの い合ってもよいが,	スト、プログラムの 末試験 (35%) 動作を理解し慣れて 最後は自分で判断し □ 遠隔授業対応	して記述する。 過ごとの到達 基礎プログラー メモリとアド を理解する。 ポインタの加 別を理解する。 関数の定義と	こと. □ 実務経験のあ 目標 ミング2で学習した内容 レス,アドレス演算子 ば算と配列,ポインタ	5る教員による授業 学の確認を行う. , 間接参照演算子 型を要素とする配 値を理解する.		
授業の ☑ アク:	ティブラー:	演習を してい 修上の区 こング	数多くこ 分 授業 P ポイン 関数(ICT 利用 内容 プログラミング ンタ(1) ンタ(2) 1) 2)	ボートまたは小デン 試験(35%),期 たってプログラムの い合ってもよいが,	スト、プログラムの 末試験 (35%) 動作を理解し慣れて 最後は自分で判断し □ 遠隔授業対応	ルくため, 度 で との到達 を で で で で で で で で で で で で で で で で で で	こと. □ 実務経験のある 目標 ミング2で学習した内容 レス,アドレス演算子 減算と配列,ポインタ 呼び出し,引数,戻り 数および変数のスコー 列を引数とする関数を	Sの確認を行う. , 間接参照演算子型を要素とする配値を理解する. プを理解する. 理解する.		
授業の ☑ アク:	ティブラー:	演習を してい 多上の区 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週	数多くこ 分 授業 ポイン 関数(関数(ICT 利用 内容 プログラミング ンタ(1) ンタ(2) 1) 2) 3)	ボートまたは小デン 試験(35%),期 たってプログラムの い合ってもよいが,	スト、プログラムの 末試験 (35%) 動作を理解し慣れて 最後は自分で判断し □ 遠隔授業対応	ルくため, 度 で との到達 を で で で で で で で で で で で で で で で で で で	こと. □ 実務経験のを 目標 ミング2で学習した内容 レス,アドレス演算子 減算と配列,ポインタ。 呼び出し,引数,戻りの 数および変数のスコー	Sの確認を行う. , 間接参照演算子型を要素とする配値を理解する. プを理解する. 理解する.		
授業の ☑ アク:	ティブラー:	演習を してい 修上の区・ こング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 6週	数多くこ。 分 授 業 ポ ポ 関数(関数(関数(ICT 利用 内容 プログラミング ンタ(1) ンタ(2) 1) 2) 3)	ボートまたは小デン 試験(35%),期 たってプログラムの い合ってもよいが,	スト、プログラムの 未試験 (35%) 動作を理解し慣れて 最後は自分で判断し □ 遠隔授業対応	いくため、 E して記述する。 過ごとの到達 基礎プログラー を理解するのが 別数の定義とし 返引数と実 (別 変引数と (別 で (別) で (別)	こと. □ 実務経験のある 目標 ミング2で学習した内容 レス,アドレス演算子 減算と配列,ポインタ 呼び出し,引数,戻り 数および変数のスコー 列を引数とする関数を	Sの確認を行う. , 間接参照演算子 型を要素とする配 値を理解する. プを理解する. 理解する. 5.		
授業の 図 アク:	ティブラー:	演習を してい 修上の区 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	数多くこ。 分 型 遅業 ポポイン 関数(関数(関数(中間)	ICT 利用 内容 プログラミング ンタ(1) ンタ(2) 1) 2) 3) 調習 武験	ボートまたは小デン 試験(35%),期 たってプログラムの い合ってもよいが,	スト、プログラムの 未試験 (35%) 動作を理解し慣れて 最後は自分で判断し □ 遠隔授業対応	いくため、 E して記述する こ	こと. □ 実務経験のある 目標 ミング2で学習した内容 レス,アドレス演算子 減算と配列,ポインタ 減算と配列,ポインタ が当し,引数,戻り 数および変数のスコー 別を引数とする関数を 内容について演習を行き 内容について理解を確認 方とファイル分割およ	50教員による授業 PSの確認を行う. , 間接参照演算子 型を要素とする配 値を理解する. プを理解する. 理解する. 5. 80 80 80 80 80 80 80 80 80 80		
授業の アクラ	ティブラー:	演習を してい 上の区 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	数多くこと 対象 分 授基ポポス 関数(関数(中間)	ICT 利用 内容 プログラミング ンタ(1) ンタ(2) 1) 2) 3) 寅習 式験 4)	ボートまたは小デン 試験(35%),期 たってプログラムの い合ってもよいが,	スト、プログラムの 末試験 (35%) 動作を理解し慣れて 最後は自分で判断し □ 遠隔授業対応	いくため、 for control に	こと. □ 実務経験のある 目標 ミング2で学習した内容 レス,アドレス演算子 減算と配列,ポインタ 減算と配列,ポインタ が当し,引数,戻り 数および変数のスコー 別を引数とする関数を 内容について演習を行き 内容について理解を確認 方とファイル分割およ	5.3教員による授業 PSの確認を行う. , 間接参照演算子 型を要素とする配 値を理解する. プを理解する. う. でコマンドライン		
授業の アクラ	ティブラー:	演習を してい 修上の区 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	数多くと. 分 授基ポポリ数(関数(中間) 関数(中間) 関数(ICT 利用 内容 プログラミング ンタ(1) ンタ(2) 1) 2) 3) 寅習 式験 4)	ボートまたは小デル 試験(35%),期 たってプログラムの い合ってもよいが, グ2の復習	スト、プログラムの 未試験 (35%) 動作を理解し慣れて 最後は自分で判断し □ 遠隔授業対応	いくため、 for control に	こと. □ 実務経験のある 目標 ミング2で学習した内容 レス,アドレス演算子 減算と配列,ポインタ 減算と配列,ポインタ 対から引数とする関数を 対容について理解を確認 方とファイル分割およる と再帰の除去について 込出力とファイル入出	SO教員による授業 SOの確認を行う. , 間接参照演算子 型を要素とする配 値を理解する. プを理解する. 5. 20 する. びコマンドライン 理解する.		
授業計	ティブラー <u>:</u> 画 3rdQ	演習をい 修上の区 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	数多くと. 分 授基ポポリ数(関数(中間) 関数(中間) 関数(ICT 利用 内容 プログラミング ンタ(1) ンタ(2) 1) 2) 3) 実習 式験 4) 5)	ボートまたは小デル 試験(35%),期 たってプログラムの い合ってもよいが, グ2の復習	スト、プログラムの 末試験 (35%) 動作を理解し慣れて 最後は自分で判断し □ 遠隔授業対応	いくため、 だって記述することの可達との 到達 との 到達 と で プレ アる の が が が が が が が が が が が が が が が が が が	こと. □ 実務経験のある	Sの確認を行う. 「間接参照演算子型を要素とする配値を理解する. 「ごを理解する. 「ごを理解する. 「ごな理解する. 「ここでではないできます。」 「ここではないできます。」 「ここではないではないできます。」 「ここではないではないではないではないできます。」 「ここではないではないではないではないではないではないではないではないではないではない		
授業計	ティブラー:	演習をい 修上の区 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週	数多くと 一型 一型 一型 一型 一型 一型 一型 一型 一型 一型	ICT 利用 内容 プログラミングンタ(1) ンタ(2) 1) 2) 3) 実習 試験 4) 5) での入出力と	ボートまたは小デル 試験(35%),期 たってプログラムの い合ってもよいが, グ2の復習	スト、プログラムの 末試験 (35%) 動作を理解し慣れて 最後は自分で判断し □ 遠隔授業対応	してにいくため、 (を) にいくため、 (を) にいくため、 (を) にいて記述する (を) で プリとすのの (を) で で で で で で で で と で の が (を) で の で と で の で と で の で と で で で で と で で で と で で で で	□ 実務経験のある 実務経験のある 実務経験のある 実務経験のある また	5-3教員による授業 PSの確認を行う. , 間接参照演算子 型を要素とする配 値を理解する. プを理解する. う. 認する. びコマンドライン 理解する. はカ, 文字列 扱い方を理解する		
授業の アクラ	ティブラー <u>:</u> 画 3rdQ	演習を してい	数多 くくと 図	ICT 利用 内容 プログラミング シタ(1) シタ(2) 1) 2) 3) 黄習 式験 4) 5) での入出力と ス(1) ス(2)	ボートまたは小デル 試験(35%),期 たってプログラムの い合ってもよいが, グ2の復習	スト、プログラムの 末試験 (35%) 動作を理解し慣れて 最後は自分で判断し □ 遠隔授業対応	して記述する。 過ごとの到達 基礎プリとするのが がでででいます。 を理解とといる。 関数の数とといる。 第6回のででのが 第6回のを理がままでのが 第6回のを理がでのが 第6回のを理がでのが がままでのが がままでのが がままでのが がままでのが がままでのが がままでいままでのが がまままがます。 には::stringの のはは::stringの のはは::stringの のはは::stringの のはは::stringの のはは::stringの のはは::stringの	□ 実務経験のある □ 実務経験のある 目標 ミング2で学習した内容 レス,アドレス演算子 減算と配列,ポインタ 、	5-3教員による授業 PSの確認を行う. , 間接参照演算子 型を要素とする配 値を理解する. プを理解する. う. 認する. びコマンドライン 理解する. はカ, 文字列 扱い方を理解する。 扱い方を理解する。		
授業の アクラ	ティブラー <u>:</u> 画 3rdQ	演習を してい 多上の区・ ことが 週	数多	ICT 利用 内容 プログラミング シタ(1) シタ(2) 1) 2) 3) 寅習 式験 4) 5) での入出力と ス(1) ス(2)	ボートまたは小デル 試験(35%),期 たってプログラムの い合ってもよいが, グ2の復習	スト、プログラムの 末試験 (35%) 動作を理解し慣れて 最後は自分で判断し □ 遠隔授業対応	ルくため、 (を) にいくため、 (を) にいくため、 (を) にいくため、 (を) にいて記述する (を) で の で の で の で の で の で の で と で の で と で の で と で の で と で の で と で の で と で の で と で の で と で の で と い で の で と は に stringの い い し に い ま で の い い い し に な メン が い い い い い に な メン が い い い に な メン が い い い い に な メン が 第13回ま で の で の に ま で の で の に ま で の い い に な メン が い い い に な メン が 第13回ま で の で の に ま で の で の い い い に な メン が い い い い い い い い い い い い い い い い い い	□ 実務経験のある 実務経験のある 実務経験のある 実務経験のある まこう でき習した内容 レス、アドレス演算子 減算と配列、ポインタ 対象 よび変数のスコーツを引数とする関数を できないて 実習を行って できについて 理解を確認 方とファイル分割およる。と再帰の除去について 現からを理解する。 で変数をもつクラスのが 内容について 演習を行って	SO教員による授業 SOの確認を行う.		
授業の アクラ	ティブラー <u>:</u> 画 3rdQ	演習をい 多上の区 1週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150 150	数 多 三 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 <br< td=""><td>ICT 利用 内容 プログラミング シタ(1) シタ(2) 1) 2) 3) 寅習 式験 4) 5) での入出力と ス(1) ス(2)</td><td>ボートまたは小デル 試験(35%),期 たってプログラムの い合ってもよいが, グ2の復習</td><td>スト、プログラムの 末試験 (35%) 動作を理解し慣れて 最後は自分で判断し □ 遠隔授業対応</td><td>して記述する。 過ごとの到達 退型プリとするの 型でででででででででいます。 関数のとまででのででででででででででででででででででででででででででででででででで</td><td>□ 実務経験のある □ 実務経験のある 目標 ミング2で学習した内容 レス,アドレス演算子 減算と配列,ポインタ が が が が が の の で こいて 理解を確認 方とファイル分割およる。 と 再帰の除去について と と の と の に の い て 理解 を 確 ・</td><td>Sの確認を行う. 「間接参照演算子型を要素とする配置を理解する. 」でを理解する. 」ででである。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、</td></br<>	ICT 利用 内容 プログラミング シタ(1) シタ(2) 1) 2) 3) 寅習 式験 4) 5) での入出力と ス(1) ス(2)	ボートまたは小デル 試験(35%),期 たってプログラムの い合ってもよいが, グ2の復習	スト、プログラムの 末試験 (35%) 動作を理解し慣れて 最後は自分で判断し □ 遠隔授業対応	して記述する。 過ごとの到達 退型プリとするの 型でででででででででいます。 関数のとまででのででででででででででででででででででででででででででででででででで	□ 実務経験のある □ 実務経験のある 目標 ミング2で学習した内容 レス,アドレス演算子 減算と配列,ポインタ が が が が が の の で こいて 理解を確認 方とファイル分割およる。 と 再帰の除去について と と の と の に の い て 理解 を 確 ・	Sの確認を行う. 「間接参照演算子型を要素とする配置を理解する. 」でを理解する. 」ででである。 では、		
授業の ② アクラ 授業計 後期	ティブラー: 画 3rdQ 4thQ	演習をい 後上の区 三ング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	数く分 授基 ポ ポ 関関関中中 関 関 C + 1 ラ ラ 末末括	ICT 利用 内容 プログラミング ンタ(1) ンタ(2) 1) 2) 3) 第選 試験 4) 5) での入出力と ス(1) ス(2) 裏試験	ボートまたは小デル試験(35%),期によってプログラムの人合ってもよいが,位のである。 文字列	スト、プログラムの 末試験 (35%) 動作を理解し慣れて 最後は自分で判断し □ 遠隔授業対応	して記述する。 過ごとの到達 退型プリとするの 型でででででででででいます。 関数のとまででのででででででででででででででででででででででででででででででででで	□ 実務経験のある 実務経験のある 実務経験のある 実務経験のある まこう でき習した内容 レス、アドレス演算子 減算と配列、ポインタ 対象 よび変数のスコーツを引数とする関数を できないて 実習を行って できについて 理解を確認 方とファイル分割およる。と再帰の除去について 現からを理解する。 で変数をもつクラスのが 内容について 演習を行って	Sの確認を行う. 「間接参照演算子型を要素とする配置を理解する. 」でを理解する. 」ででである。 では、		
授業か 受業計 後期	ティブラー: 画 3rdQ 4thQ	演習をい 後上の区 三ング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	数く分 授基 ポ ポ 関関関中中 関 関 C + 1 ラ ラ 末末括	ICT 利用 内容プログラミングシタ(1) シタ(2) 1) 2) 3) 選ば験 4) 5) での入出力と ス(1) ス(2) 実践 内容と到達	ボートまたは小デス試験(35%),期につてプログラムのたったってもよいが、	スト、プログラムの 未試験 (35%) 動作を理解し慣れて 最後は自分で判断し □ 遠隔授業対応	して記述する。 過ごとの到達 退型プリとするの 型でででででででででいます。 関数のとまででのででででででででででででででででででででででででででででででででで	□ 実務経験のある □ 実務経験のある 目標 ミング2で学習した内容 レス,アドレス演算子 減算と配列,ポインタ ・	Sの確認を行う. の確認を行う. の確認を行う. の間接参照演算子型を要素とする配値を理解する. でプログログログログでである。 でプログログログログログログログログででは、文字列のでは、文字列のでする。 のい方を理解する。		
授業の ② アクラ 授業計 後期	ティブラー: 画 3rdQ 4thQ	演習をい 後上の区 三ング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	数く分	ICT 利用 内容 プログラミング ンタ(1) ンタ(2) 1) 2) 3) 第選 試験 4) 5) での入出力と ス(1) ス(2) 裏試験	ボートまたは小デル試験(35%),期によってプログラムの人合ってもよいが,位のである。 文字列	スト、プログラムの 未試験 (35%) 動作を理解し慣れて 最後は自分で判断し □ 遠隔授業対応	して記述する。 過ごとの到達 退型プリとするの 型でででででででででいます。 関数のとまででのででででででででででででででででででででででででででででででででで	□ 実務経験のある □ 実務経験のある 目標 ミング2で学習した内容 レス,アドレス演算子 減算と配列,ポインタ が が が が が の の で こいて 理解を確認 方とファイル分割およる。 と 再帰の除去について と と の と の に の い て 理解 を 確 ・	Sの確認を行う. の確認を行う. の確認を行う. の間接参照演算子型を要素とする配値を理解する. でプログログログログでである。 でプログログログログログログログログログででである。 のででは、文字列のでは、文字列のでは、文字列のでは、文字列のでは、できる。 のででは、できる。 のででは、できる。 のでは、できる。 のでは、		
授業の 授業計 後期 で 大類	ティブラー: 画 3rdQ 4thQ	演習をい 多上の区 1週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 14週 15週 16週 十ユラム 分野	数く分	TCT 利用 内容 プログラミング シタ(1) シタ(2) 1) 2) 3) 選 式験 4) 5) での入出力と ス(1) ス(2) 環 関 ア マ ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア	ボートまたは小デス 試験 (35%) , 期 たってプログラムの かったってもよいが, ブ2の復習 文字列	スト、プログラムの 未試験 (35%) 動作を理解し慣れて 最後は自分で判断し □ 遠隔授業対応	ルくため、 (を) にいくため、 (で) にいくため、 (で) にいくだが、 (で) で) がいません (で) で) がいません (で) で) がいます (で) で) がいます (で) にいます (で) にいます (で) にいます (で) にいまれる (で) にいます (で) にいます (で) にいます (で) にいます (で) にいます (で) にいます (で) にいまれる (で) にいます	□ 実務経験のある □ 実務経験のある 目標 ミング2で学習した内容 レス,アドレス演算子 減算と配列,ポインタ ・	Sの確認を行う. の確認を行う. の確認を行う. の間接参照演算子型を要素とする配値を理解する. でプログログログログでである。 でプログログログログログログログログででは、文字列のでは、文字列のでする。 のい方を理解する。		
授業 受 アク:	ティブラー: 画 3rdQ 4thQ	演習をい 多上の区 1週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 14週 15週 16週 十ユラム 分野	数く分	ICT 利用 内容プログラミングシタ(1) シタ(2) 1) 2) 3) 選ば験 4) 5) での入出力と ス(1) ス(2) 実践 内容と到達	ボートまたは小デス 試験 (35%) , 期 たってプログラムの たっ合ってもよいが, ブ2の復習 文字列 で	スト、プログラムの 末試験 (35%) 動作を理解し慣れて 最後は自分で判断し □ 遠隔授業対応	ルマには、 周ごとの到達 基本では、 型ででは、 型ででは、 型ででは、 ででは、 ででは、 ののののが、 ででは、 ののののののでは、 ででは、 のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	□ 実務経験のある □ 実務経験のある 目標 ミング2で学習した内容 レス,アドレス演算子 減算と配列,ポインタ があまび変数のスコー 別を引数とする関数を 内容について理解を確認 方とファイル分割およる と再帰の除去について 扱い方を理解する ・	Sの確認を行う. の確認を行う. の間接参照演算子型を要素とする配値を理解する. でプログログログログログログログログでである。 のでは、文字列のでは、文字列のでは、文字列のでは、文字列のでは、大きでは、できる。 のでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大き		

			与えられた問題に対 ムを記述できる。	寸して、それを解決するためのソー <i>フ</i>	スプログラ	2	
			ソフトウェア生成に ードモジュールに変	こ必要なツールを使い、ソースプロク 変換して実行できる。	ブラムをロ	2	
			主要な言語処理プロ]セッサの種類と特徴を説明できる。		2	
			ソフトウェア開発に できる。	二利用する標準的なツールの種類と機	能を説明	2	
			プログラミング言語 できる。	語は計算モデルによって分類される こ	とを説明	2	
			主要な計算モデルを	・説明できる。		2	
			要求仕様に従って、 グラムを設計できる	標準的な手法により実行効率を考慮 る。	したプロ	2	
評価割合							
	定!	期試験		レポート課題	合計		
総合評価割合 70		70		30	100		
基礎的能力	基礎的能力 0			0	0		_
専門的能力	70			30 100			
分野横断的能力				0 0			
専門的能力				30 0 30	100 0 100		